平成 20 年 12 月 11 日
株式会社フィールドロジック

H20 年度 NEDO-FT 採択者接続試験手順書

標題に関する留意事項を以下にまとめさせて頂いております。

※　当文書の内容は、システム計測指針や通信試験等の内容に変更があった場合は、修正させて頂きます。

■更新履歴

10 月 30 日　新規作成
11 月 06 日　「参照 5」の手順を一部修正
11 月 07 日　NEDO 殿指定の試験内容変更に伴う、本手順書内容の変更
11 月 25 日　送信 ID の仕様変更を反映
12 月 11 日　運転状態データファイル送信テスト手順の一部変更

■はじめに

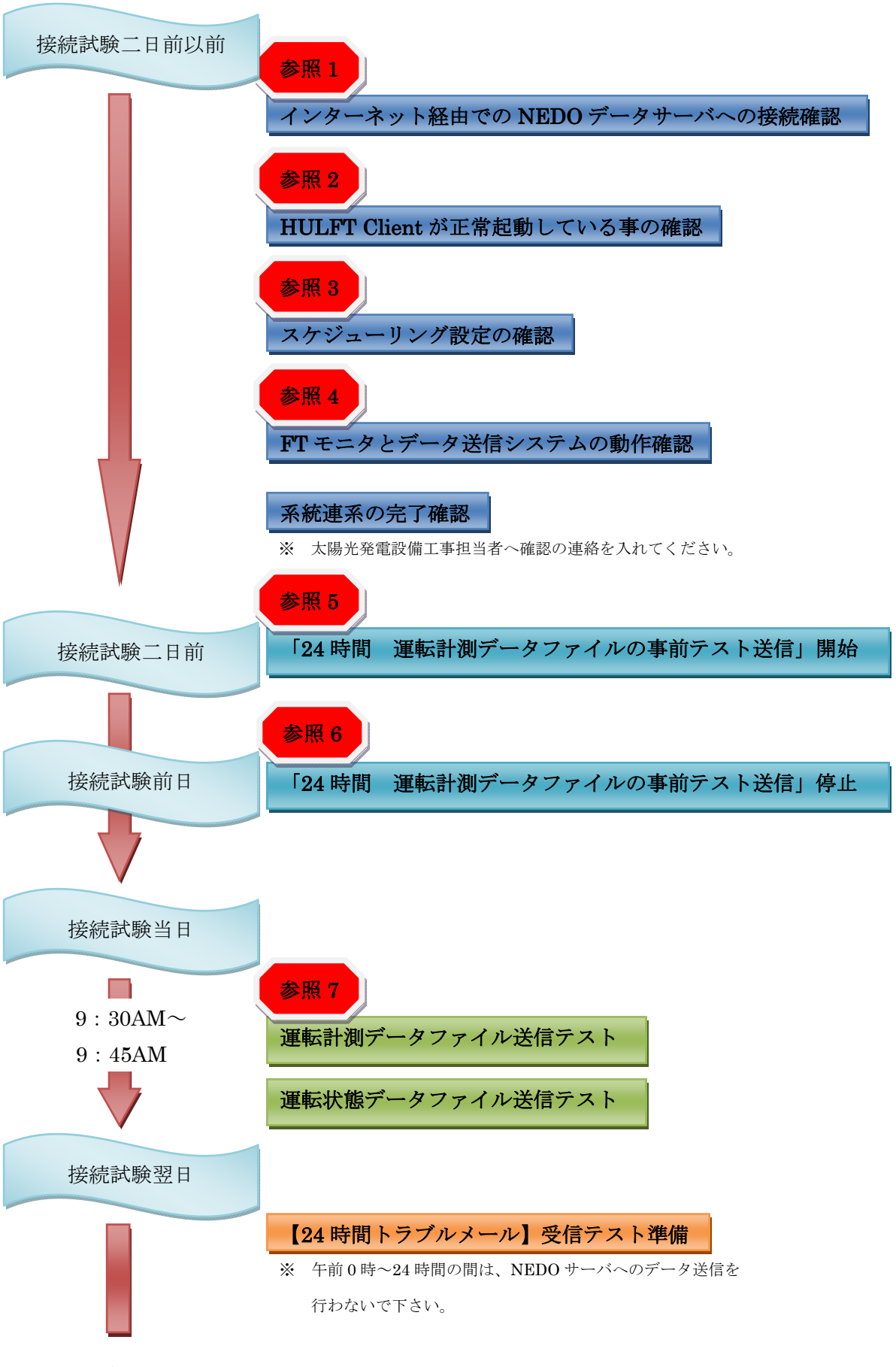
本手順書は、NEDO 殿より配布された「採択者接続試験スケジュール」、
及び「接続テスト仕様書（H20 年度採択者接続試験用）」に基づいて作成された試験手順書です。
本書内では、**採択者接続試験スケジュールと、それに伴う試験項目に対する詳細な手順を、弊社システムをベースに紹介します。**
尚、お取り扱い方法と致しましては、

① pg.2-3 にございますフロー図を中心にご覧ください。
② 「参照」マークが付いている項目に関しましては、該当参照マークが示す、Pg.4 以降の手順項目をそれぞれご覧下さい。

■弊社連絡先

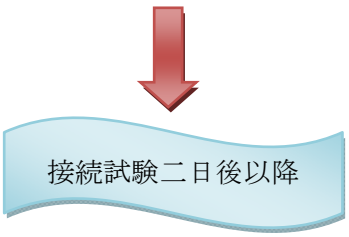
株式会社フィールドロジック
TEL：0774-31-4186（代表）

Ⅰ．フロー図


接続試験二日前以前
参照 1
インターネット経由での NEDO データサーバへの接続確認
参照 2
HULFT Client が正常起動している事の確認
参照 3
スケジューリング設定の確認
参照 4
FT モニタとデータ送信システムの動作確認
系統連系の完了確認
※　太陽光発電設備工事担当者へ確認の連絡を入れてください。
接続試験二日前
参照 5
「24 時間　運転計測データファイルの事前テスト送信」開始
接続試験前日
参照 6
「24 時間　運転計測データファイルの事前テスト送信」停止
接続試験当日
9：30AM～
9：45AM
参照 7
運転計測データファイル送信テスト
運転状態データファイル送信テスト
接続試験翌日
【24 時間トラブルメール】受信テスト準備
※　午前 0 時～24 時間の間は、NEDO サーバへのデータ送信を
行わないで下さい。

次頁へ

前頁より



【24 時間トラブルメール】受信確認

※　当該メール受信用に記載したアドレス宛の、メールをご確認頂き、
メール受信状況を NEDO 担当者様(田中様／前川様)へご連絡下さい。
連絡先：NEDO 太陽 FT グループ殿（03-3981-4186／代表）

接続試験完了

参照 8

NEDO の指示により、データ自動送信開始

Ⅱ．手順項目

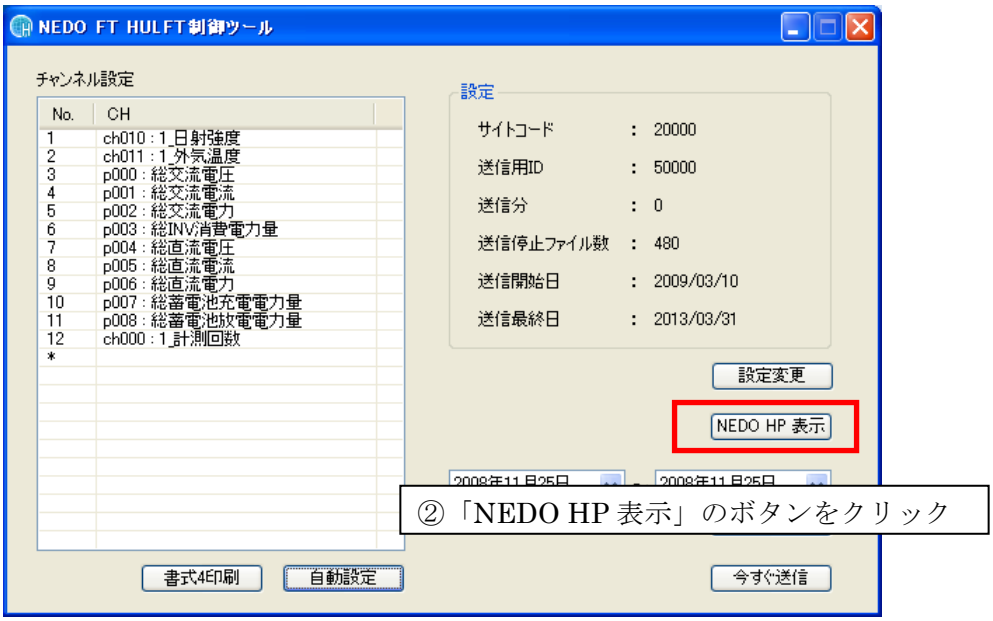
参照 1　インターネット経由での NEDO データサーバへの接続確認

←HULFT 制御ツールアイコン

（！）　アイコンが無い場合は、デスクトップ上の「HULFT 制御ツール」のショートカットをダブルクリックして、起動させて下さい。

（！）　尚、アイコンが無かった旨を表紙に記載されております、弊社連絡先にご連絡下さいます様よろしくお願い申し上げます。

クリック後、下図の「NEDO FT HULFT 制御ツール」が立ち上がるので・・・



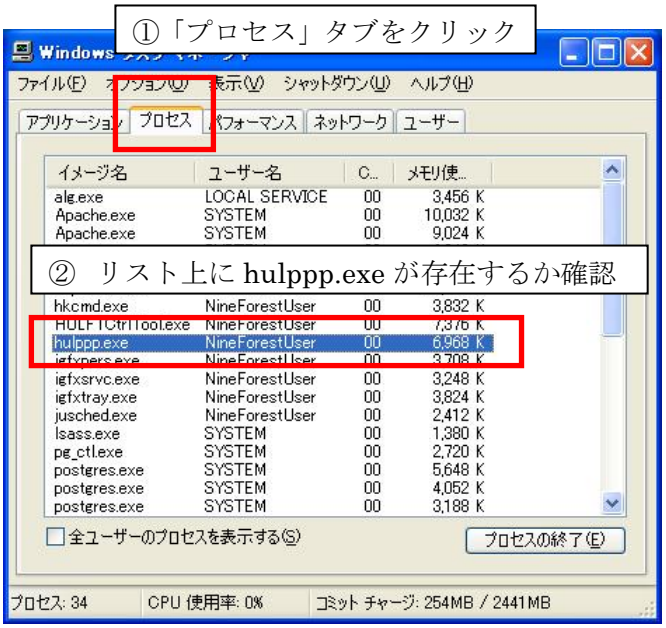
自動的にインターネットエクスプローラーが起動し、下図の画面が表示されれば、接続確認の完了です。

（！）　表示されない場合は、別紙「トラブルシューティングフローチャート」をご参照下さい。

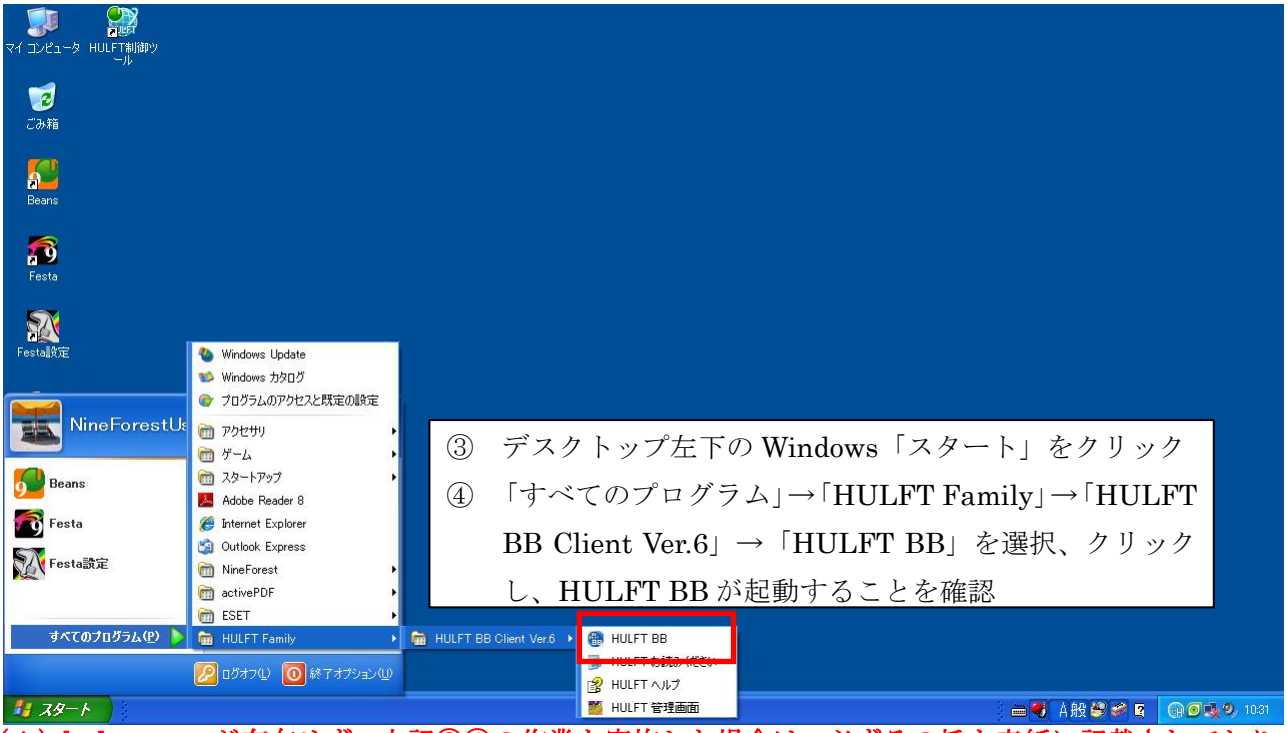
（※）上図画面の確認後、インターネットエクスプローラーを閉じてください。

参照 2　**HULFT　Client が正常起動していることの確認**

キーボード上の「Ctrl」と「Alt」と「Del」キーを同時に押すと、下図の「Windows タスクマネージャ」が立ち上がります。



（！）　リスト上に hulppp.exe が存在しない場合は、以降の手順をご参照下さい。

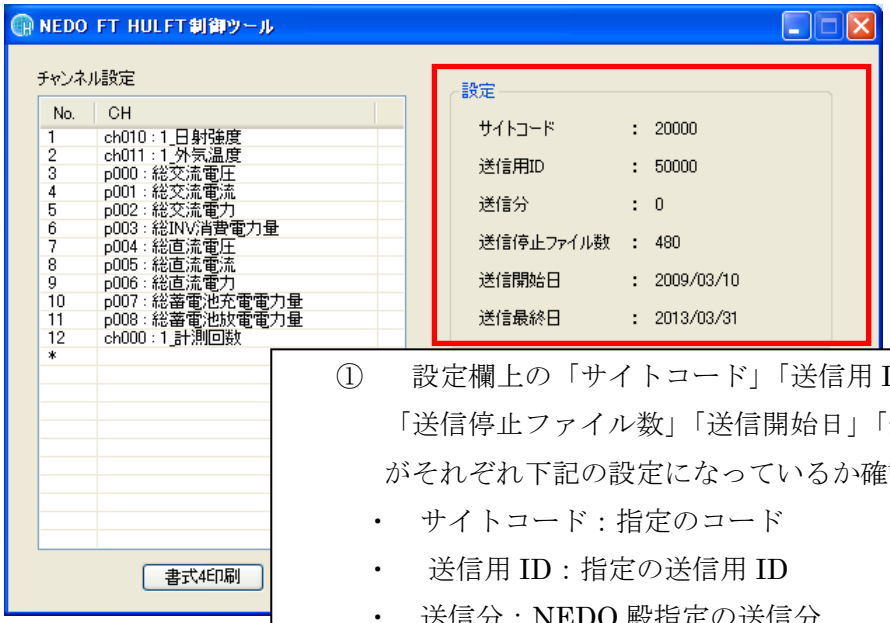


③　デスクトップ左下の Windows「スタート」をクリック

④　「すべてのプログラム」→「HULFT Family」→「HULFT BB Client Ver.6」→「HULFT BB」を選択、クリックし、HULFT BB が起動することを確認

（！）hulppp.exe が存在せず、上記③④の作業を実施した場合は、必ずその旨を表紙に記載されておりますす、弊社連絡先にご連絡下さいます様よろしくお願い申し上げます。

参照 3　スケジューリング設定の確認



①　設定欄上の「サイトコード」「送信用 ID」「送信分」「送信停止ファイル数」「送信開始日」「送信最終日」がそれぞれ下記の設定になっているか確認

- サイトコード：指定のコード
- 送信用 ID：指定の送信用 ID
- 送信分：NEDO 殿指定の送信分

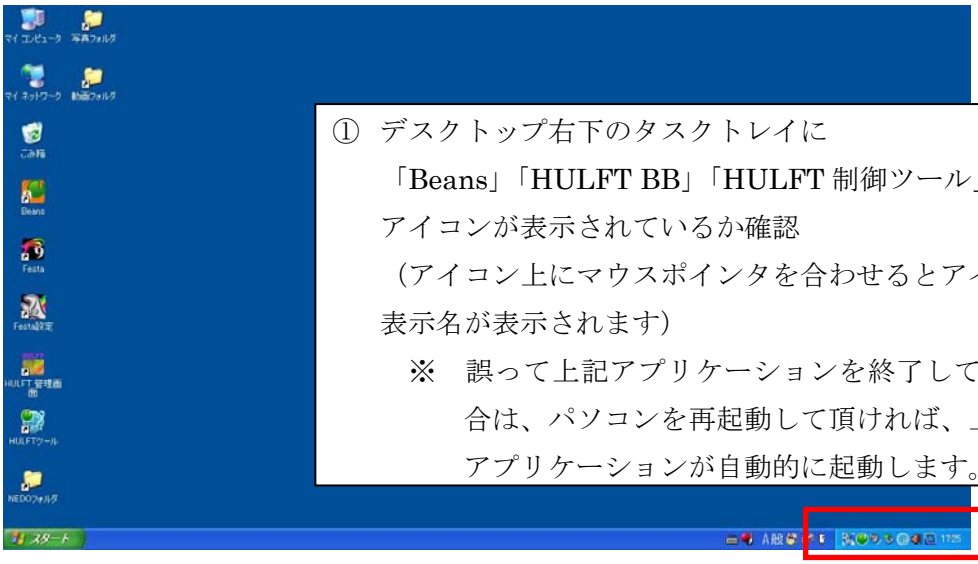
参照：別紙「H20 年度 NEDO-FT 接続試験事前連絡情報提出概要」

- 送信停止ファイル数：480
- 送信開始日：2009/03/10
- 送信最終日：2013/03/31

（！）　スケジューリング設定がまちがっていた場合は、表紙に記載されております、弊社連絡先にご連絡下さいます様よろしくお願い申し上げます。

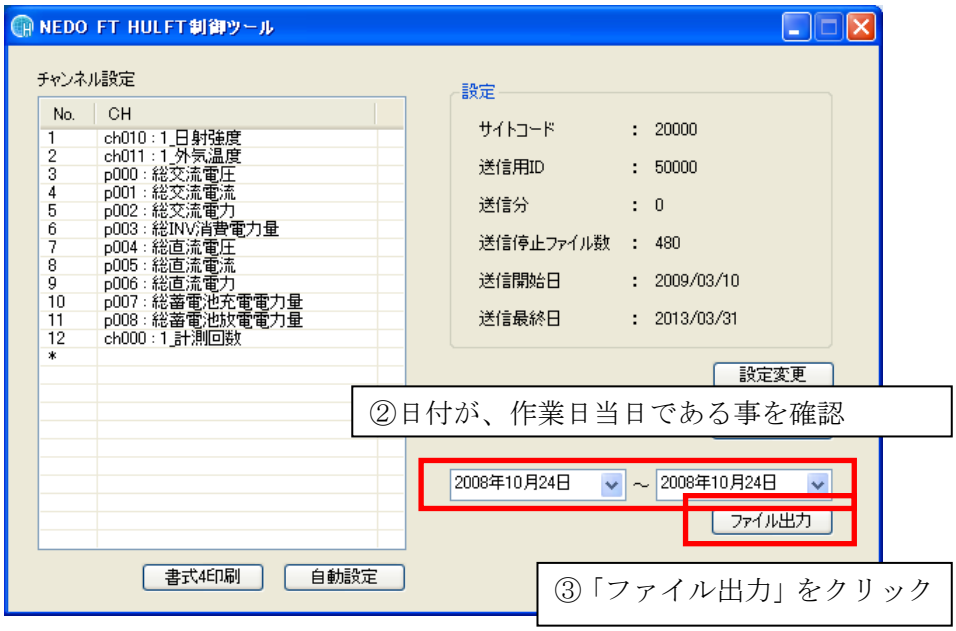
参照 4　FT モニタとデータ送信システムの動作確認（配信用ファイルの作成の確認）

【要注意！】　本試験項目では、１分以上、計測がされた状態が前提条件となっております。



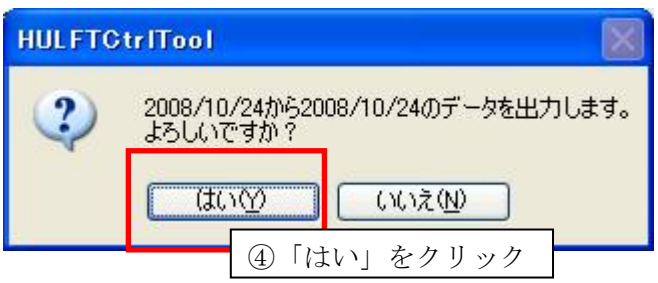
① デスクトップ右下のタスクトレイに
「Beans」「HULFT BB」「HULFT 制御ツール」の
アイコンが表示されているか確認
（アイコン上にマウスポインタを合わせるとアイコンの
表示名が表示されます）
※ 誤って上記アプリケーションを終了してしまった場合は、パソコンを再起動して頂ければ、上記全てのアプリケーションが自動的に起動します。

← Beans　← HULFT BB　← HULFT 制御ツール



②日付が、作業日当日である事を確認

③「ファイル出力」をクリック

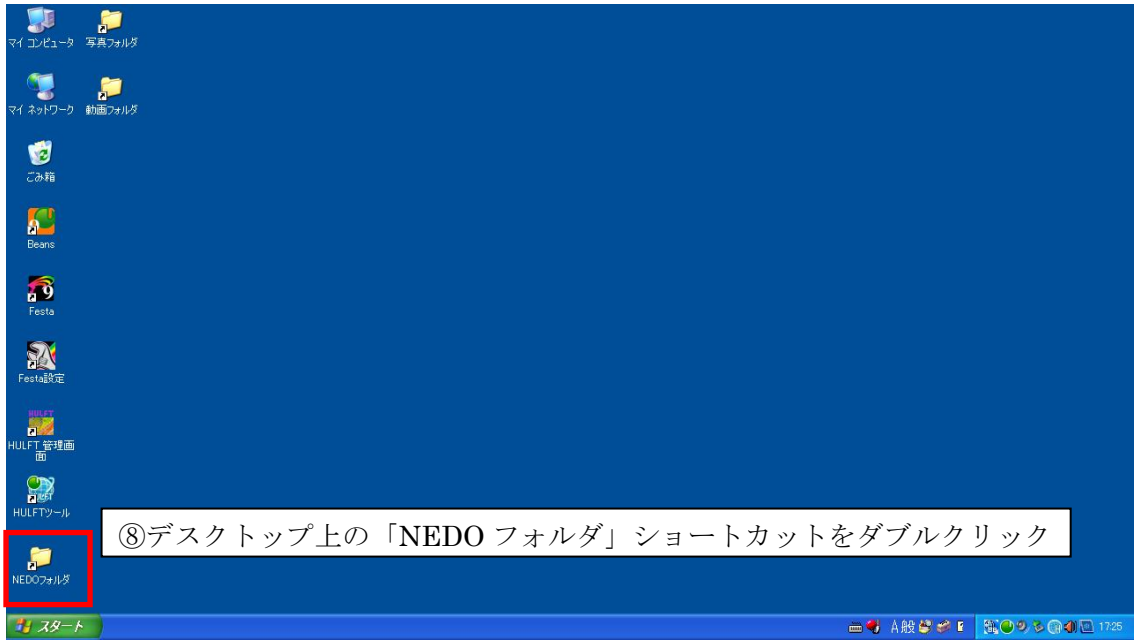


④「はい」をクリック

⑤「NEDO」フォルダを選択

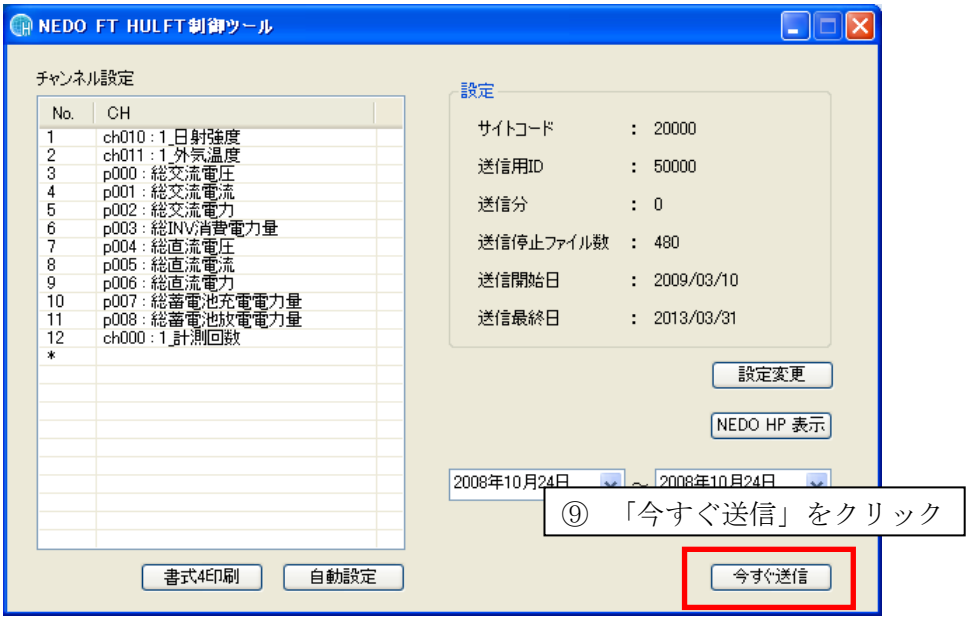
⑥「OK」をクリック

⑦「OK」をクリック

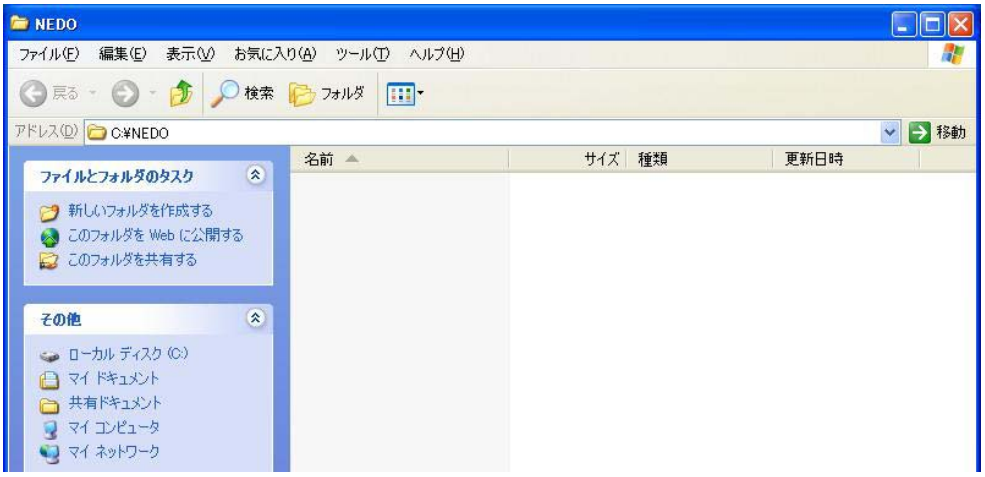


⑧デスクトップ上の「NEDO フォルダ」ショートカットをダブルクリック

フォルダ内に下図の様に
運転計測データファイル・・・ファイル名「サイトコード DMS 日付時刻」
運転状態データファイル・・・ファイル名「サイトコード DST 日付時刻」
のファイルが複数作成されているか確認して下さい。



正常に送信がされていれば、下図の様に NEDO フォルダ内は空の状態になります。

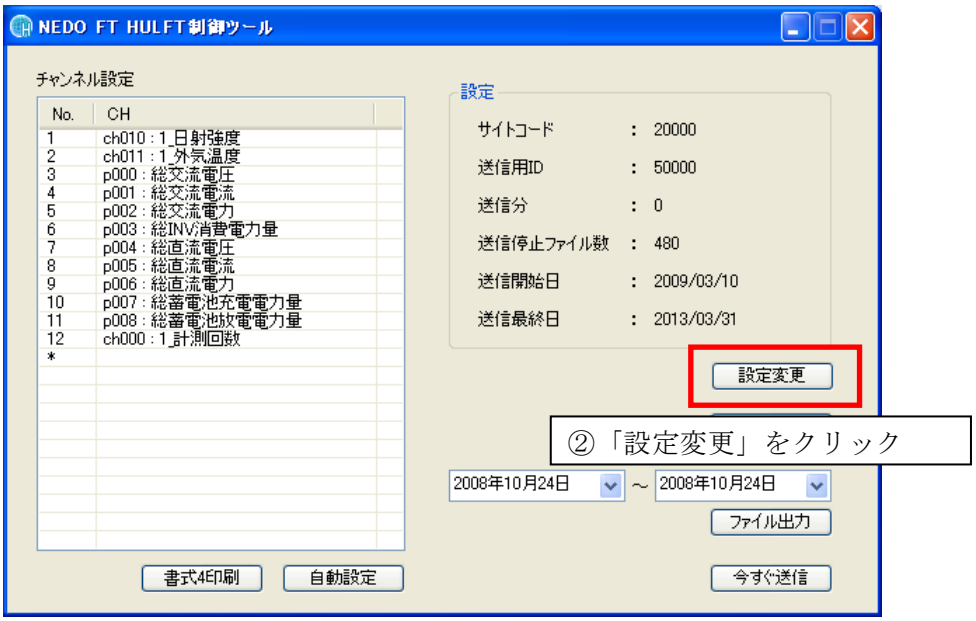


（！） フォルダ内にデータが残っている場合は、別紙「トラブルシューティングフローチャート」をご参照下さい。

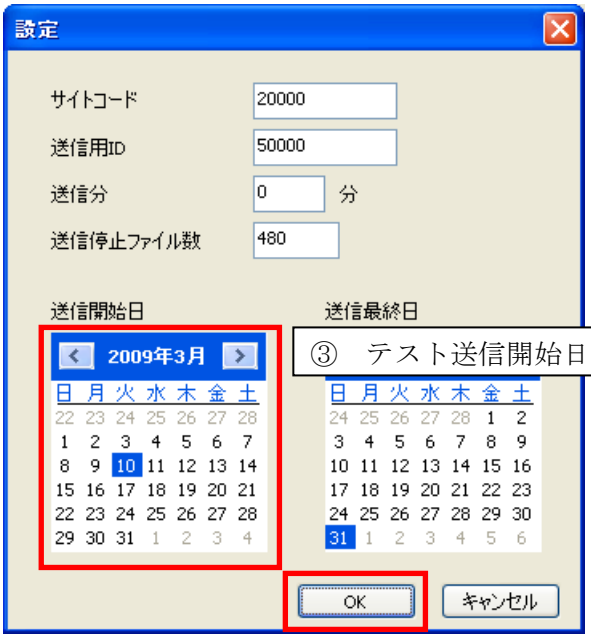
【要注意！】 本データ送信後の、NEDO 側からのレスポンスはございません。
尚、本送信操作は、接続試験翌日に行わない様にして下さい。
もし実行された場合、試験日の【24 時間トラブルメール】受信が正常に行われません。

参照 5　「24 時間　運転計測データファイルの事前テスト送信」開始

① 参照 1（P.4 参照）同様の手順で、HULFT 制御ツールを起動



②「設定変更」をクリック



③　テスト送信開始日を選択

④「OK」をクリック

⑤ ④作業後、HULFT 制御ツールを最小化して頂き、参照 4-①と同様に、
本ツール、HULFTBB、Beans の三つのアプリケーションが動作しているかご確認下さい。
(Beans に関しては、計測が正常に開始されている状態かもご確認下さい。Beans の操作に関しては
お取扱説明書をご参照下さい。)

⑥　⑤作業後は、毎時、指定の送信分にデータファイルが NEDO サーバに送信されます。
デスクトップ上の NEDO フォルダの中を確認し、送信が正常に行われていることを確認して下さい。

【要注意！】　送信が正常に行われたデータは、NEDO フォルダの中から自動的に削除されますが、以下の点にご注意ください。

- 送信データの作成　：　毎時 00 分
- データの送信　：　HULFT 制御ツールにて設定した時間（送信分）
- よって、データの送信分が 30 分の場合、00 分に作成されたデータは、30 分になるまで NEDO フォルダ内に存在し、30 分にデータを正常送信した後に、NEDO フォルダから自動的に削除

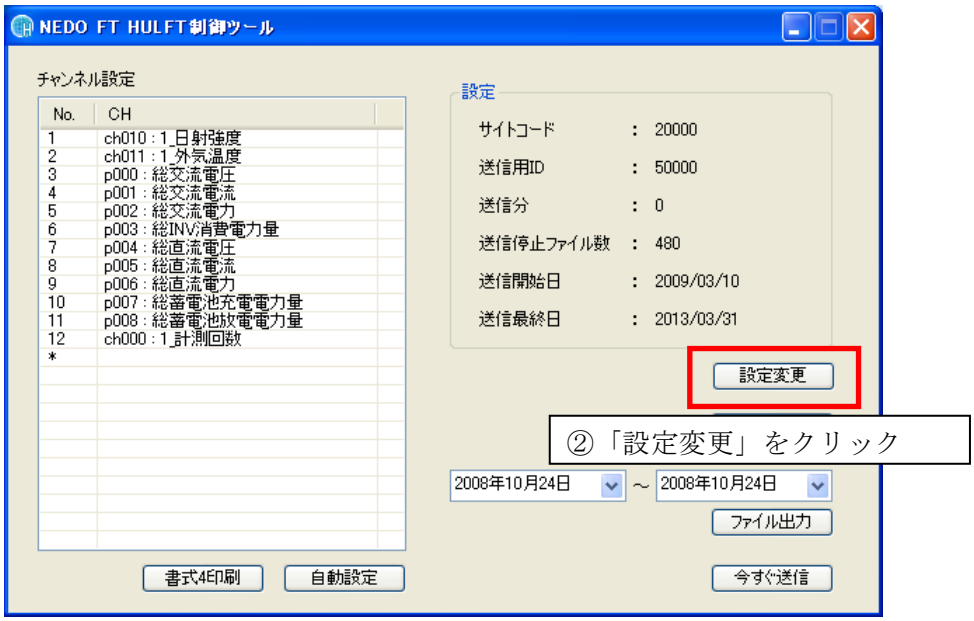
（※）現在の時刻の次の時刻が送信開始時刻となります。
例）現在の時刻　9：50AM　→　送信開始時刻 10：00AM

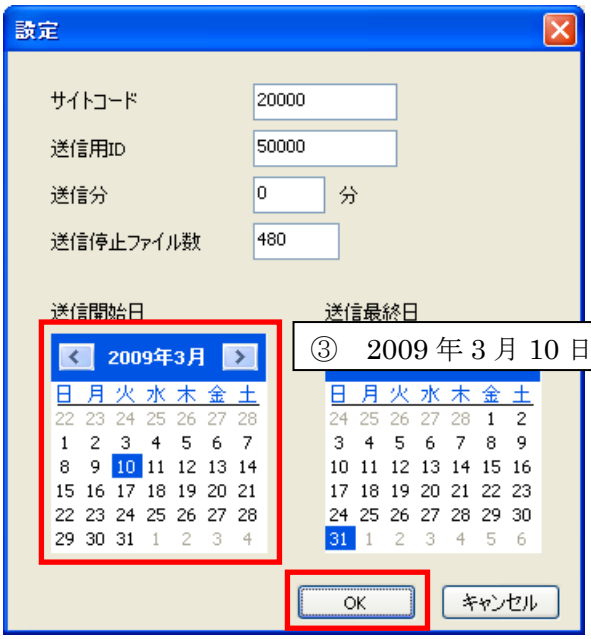
（※）データファイル送信を開始してから 24 時間（すなわち上記の手順⑥にて設定した送信開始時刻と同時刻）以上が経過するまで、このままデータ送信を続けます。
例：　12 月 10 日 10：00AM 開始　→　12 月 11 日 10：00AM 以降停止
（24 時間以上が経過した後の説明は下記、参照 6 にて説明致します。）

参照 6　「24 時間　運転計測データファイルの事前テスト送信」停止

【要注意！】　データファイル送信を開始してから 24 時間（すなわち上記の手順⑥にて設定した送信開始時刻と同時刻）以上が経過してから、本作業を実施して下さい。
例：　12 月 10 日 10：00AM に送信開始　→　12 月 11 日 10：00AM 以降に作業実施

①　参照 1（P.4 参照）同様の手順で HULFT 制御ツールを起動





③　2009 年 3 月 10 日を選択

④「OK」をクリック

（※）以上の作業でデータファイル送信が停止します。

（※）以上の作業で 24 時間毎時データファイルを送信するテストは完了となります。
次のテストは、試験当日の 09 : 30AM～9 : 45AM に開始する「運転計測データファイル送信テスト」「運転状態データファイル送信テスト」となります。
（下記、参照 7 にて説明致します。）

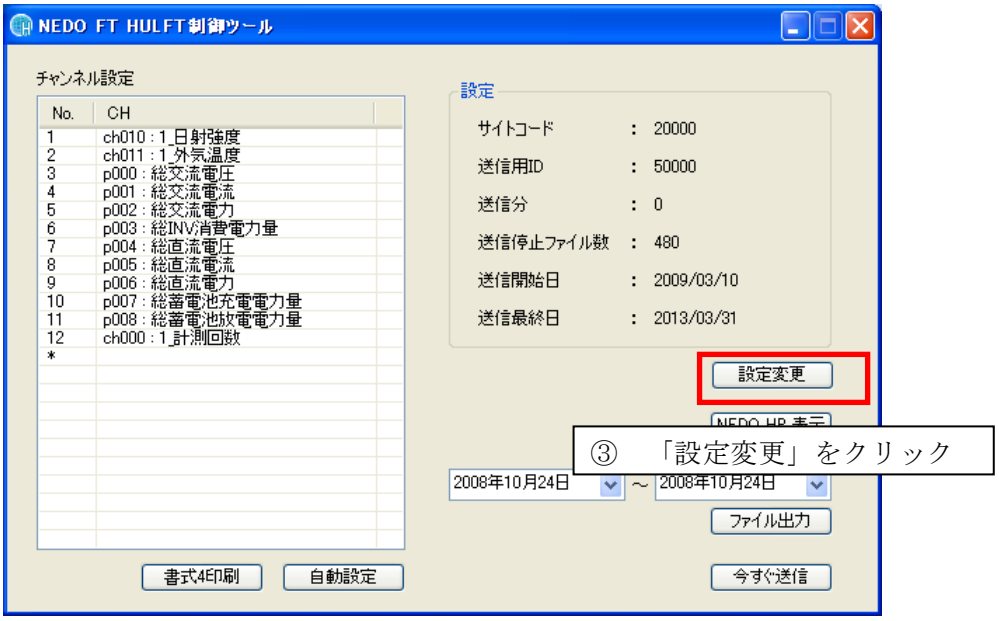
参照 7

運転計測データファイル送信テスト(計測データファイル名「サイトコード DMS 日付時刻」)
運転状態データファイル送信テスト(状態データファイル名「サイトコード DST 日付時刻」)

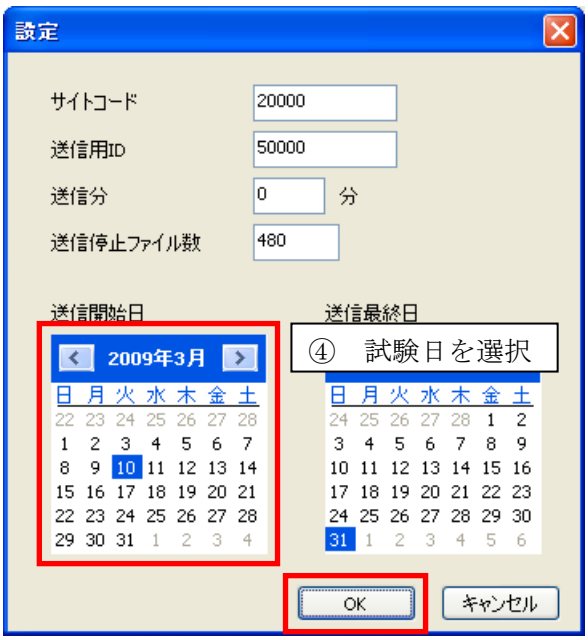
※　試験日当日 09：30AM～09：45AM に下記の操作を必ず実施して下さい。

①　パワーコンディショナを 10 分間電源 OFF

② 参照 1（P.4 参照）同様の手順で、HULFT 制御ツールを起動



③ 「設定変更」をクリック



④ 試験日を選択

⑤「OK」をクリック

⑥ 上記作業後、データは自動的に設定時刻に送信されます。
デスクトップ上の NEDO フォルダの中を確認し、送信が正常に行われていることを確認して下さい。

【要注意！】 送信が正常に行われたデータは、NEDO フォルダの中から自動的に削除されますが、以下の点にご注意ください。

- 送信データの作成 ： 毎時 00 分
- データの送信 ： HULFT 制御ツールにて設定した時間（送信分）
- よって、データの送信分が 30 分の場合、00 分に作成されたデータは、30 分になるまで NEDO フォルダ内に存在し、30 分にデータを正常送信した後に、NEDO フォルダから自動的に削除

⑦　送信確認後に、④⑤と同様の手順で、送信開始日を 2009/03/10 に設定し、ツールを最小化して下さい。

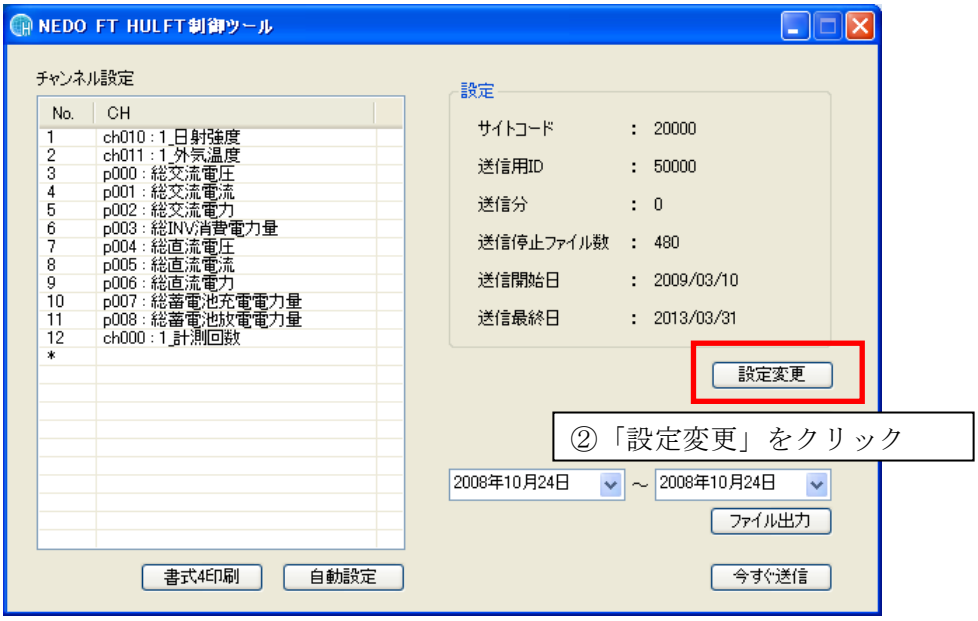
（※）以上の作業でデータファイル送信が停止します。

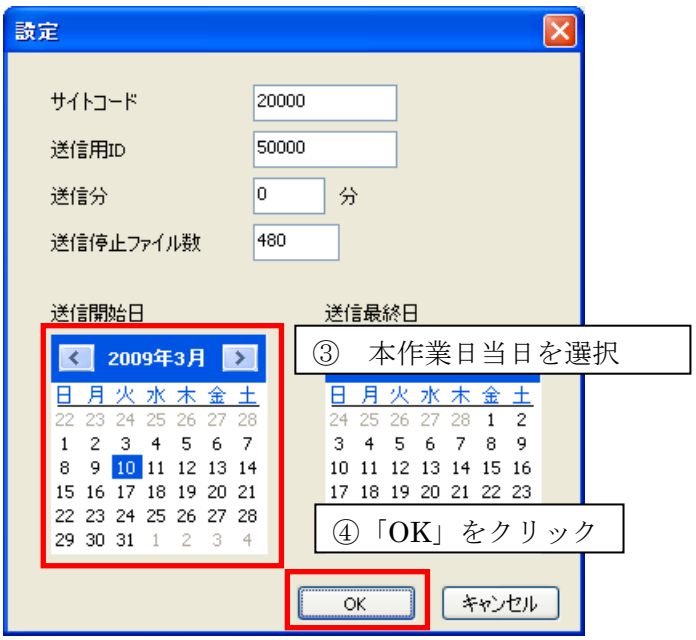
（※）本作業の 2 日後（接続試験当日の 2 日後）以降に、24 時間トラブルメールが NEDO より届きます。
P.3 のフロー図内に記載の連絡先に、24 時間トラブルメール受信確認を連絡して下さい。

（※）それ以降に、データ自動送信開始の指示が NEDO からありますので、データ自動送信を開始します。
（データ自動送信開始の方法は下記、参照 8 にて説明致します。）

参照 8　NEDO の指示により、データ自動送信開始

①　参照 1（P.4 参照）同様の手順で、HULFT 制御ツールを起動





⑤　④作業後、HULFT 制御ツールを最小化して頂き、参照 4-①（P.7 参照）と同様に、
本ツール、HULFTBB、Beans の三つのアプリケーションが動作しているかご確認下さい。
(Beans に関しては、計測が正常に開始されている状態かもご確認下さい。Beans の操作に関しては
お取扱説明書をご参照下さい。)